

第65回 I B I Cスペシャルセミナー

『伝わる文章、わかりやすい文章の書き方』～伝えたい内容の要点をつかむ～

講師 伝える力【話す・書く】研究所 所長 山口 拓朗 氏

【日 時】令和5年2月21日(火) 14:00～16:30

【主 催】今治地域地場産業振興センター

【参加費】無料

【開催地】じばさんセンター 4階 第1研修センター

【参加者】29名

今回は、伝える力【話す・書く】研究所所長 山口拓朗さんに「伝わる文章、わかりやすい文章の書き方」についてお話していただきました。

まず、伝わる文章は「書き手視点」ではなく「読み手視点」で書くことが大事だというお話をしてくださいました。伝わる文章にするための情報を整理する方法の一つに「自問自答術」というのがあることを教えていただきました。

つぎに、整理した情報を伝わりやすい文章にするために二つの型があるとお話していただきました。ひとつめは「列挙型」で全体像を伝えたあとに伝えたいことを順番に並べる方法、ふたつめは、「結論優先型」で結論を書いたあとに理由を書くという方法でした。

また、相手に伝わる文章の要点として、簡潔で具体的な文章、情報の整理、読みやすい見た目なども重要だということも教えていただきました。

ワークショップでは、「自問自答術」で伝えたい情報を書き出しました。それをもとに、文章にするための二つの型にはめて文章を作り、二人一組になりお互いが伝え合ってみる実践も行いました。受講者からは、「テーマに沿って書くことが普段は難しいと感じるが、自問自答術や文章の型を使うと書きやすいと思った」「これからの仕事に役立てたい」などの感想がありました。



※感染予防対策をしてセミナーを開催しました。

Profile/山口 拓朗 (やまぐち たくろう)

- ・1972年鹿児島生まれ。
- ・1996年出版社に入社し編集者、記者に従事。
- ・2002年出版社を退職、独立。
- ・出版社勤務を含め26年間で取材・執筆は3600件以上にのぼる。
- ・現在では執筆や講演、研修を通じて実践的なノウハウを提供。
- ・ビジネスパーソンを中心に1万人以上への指導経験を持つ。また「ライティングサロン」を主宰し、SNSで自身の活動を広めたい人や書籍の出版を目指している人たちをサポートしている。
- ・中学生にもわかる丁寧な語り口を信条としている。

